

平成30年度事業計画及び 収支予算の概要

社会福祉施設特別会計



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

1. 平成29年度 主な取り組みと今後の課題

項目	目標	これまでの取り組み	今後の方向性・課題
社会福祉施設の運営分析・改善策の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・運営基盤の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営分析手法の研修開催 ・物品共同購入等による経費削減 ・施設職員の施設間相互受入研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修体制の体系化 ・運営知識の向上 ・全社的な人材確保対策
支部・赤十字病院と連携した救急法等講習・専門研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの質向上 ・専門性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設における救急法等講習、災害対応等の講座開催 ・本社交付金による専門研修の受講促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な指導員養成 ・専門研修受講の財源確保
ボランティア活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなボランティアの確保 ・地域社会との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報媒体によるボランティア活動内容の発信 ・施設間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア主体の活動メニューの作成 ・ボランティア活動時の安全対策
地域包括ケアシステムへの対応方策の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的かつ日赤の特色ある同システムへの貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ・国の施策動向等の調査 ・日赤内の資源(赤十字病院、社会福祉施設、ボランティア、講習等)の連携方策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域事情を考慮した日赤の特色ある支援

2. 平成30年度事業計画 <社会福祉事業>

事業環境

- ・超高齢社会の進展に伴う介護ニーズの増加
- ・少子化、核家族化が進む中で深刻化する育児不安や子育て家庭の孤立、虐待の増加
- ・障がい者の自立と社会参加に向けた支援等の推進

基本的な方向性

- ・社会福祉施設の安定した施設運営
- ・利用者への福祉サービスの質の向上
- ・地域における社会貢献活動等の推進

施策

- (1) 社会福祉施設の運営分析及び改善策の実施
- (2) 支部、赤十字病院と連携した救急法等指導員の養成推進
- (3) 社会福祉施設のボランティア活動内容の拡充
- (4) 地域包括ケアシステムへの対応に向けた検討実施

3. 平成30年度事業計画

(1) 社会福祉施設の運営分析及び改善策の実施

日赤グループとしての取り組み⇒施設運営の効率化

施設の運営分析

- ・外部の専門講師による研修の実施
- ・他法人等の運営状況の調査 等



社会福祉事業推進会議・研修会
(本社主催)

施設運営の知識向上



各種加算取得による増収
物品共同購入による経費削減

福祉サービスの強化

- ・職員の施設間相互受入研修の実施
- ・専門研修の受講促進の強化 等



介護技術向上研修
(特別養護老人ホーム やすらぎの郷)

援助技術向上

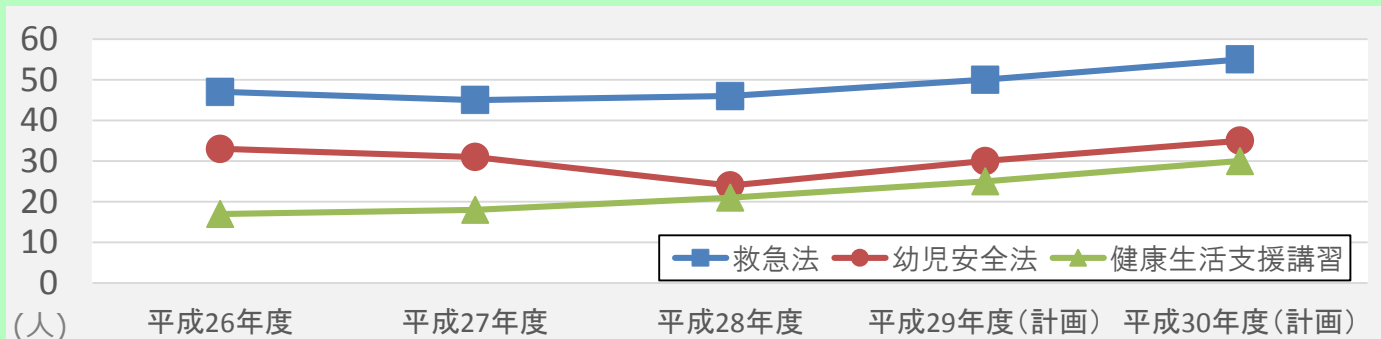


サービスの質の向上による利用者の増加
研修制度の充実による福祉職の人材確保

(2) 支部、赤十字病院と連携した救急法等指導員の養成推進

地域住民への講習機会の拡充 ⇒ 地域に開かれた信頼される施設へ

社会福祉施設の救急法等指導員数の推移



地域の中学生対象の救急法講習
(日赤安謝福祉複合施設)

救命手当・応急手当の普及
災害時の心得等の普及



地域の子育て世帯対象の幼児安全法講習
(秋田赤十字乳児院)

乳幼児の事故予防
病気や怪我の応急手当の普及



地域の高齢者対象の健康生活支援講習
(特別養護老人ホーム錦江園)

高齢者の健康増進
認知症に理解ある街づくり

(3) 社会福祉施設のボランティア活動内容の拡充

ボランティア及び企業の運営への参画⇒地域社会との連携強化による施設運営の活性化

社会福祉施設のボランティア数の推移

活動人数 (延数)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (計画)	平成30年度 (計画)
	47,112人	50,396人	50,490人	52,000人	53,000人



個人ボランティア
による
食事介助

(茨城県支部乳児院)

赤十字奉仕団員
による
点字普及活動

(神奈川県ライトセンター)



企業のCSR活動の受入れ



株式会社フィリップス様
口腔ケア指導・電動歯ブラシ寄贈
(特別養護老人ホーム日赤鶯鳴荘 他)



株式会社サンリオ様
キティちゃんの施設訪問
(青森県立はまなす医療療育センター 他)

ボランティア主体の活動メニュー作り



継続的な支援者の確保

寄付メニューの提案



新たな支援企業の確保

(4) 地域包括ケアシステムへの対応に向けた検討実施

日赤の総合力を生かした取り組み⇒地域包括ケアシステムへの貢献



通院・通所の受入
在宅医療、訪問看護、訪問介護



社会福祉ニーズ



介護予防(健康生活支援講習等)

社会福祉施設の運営支援

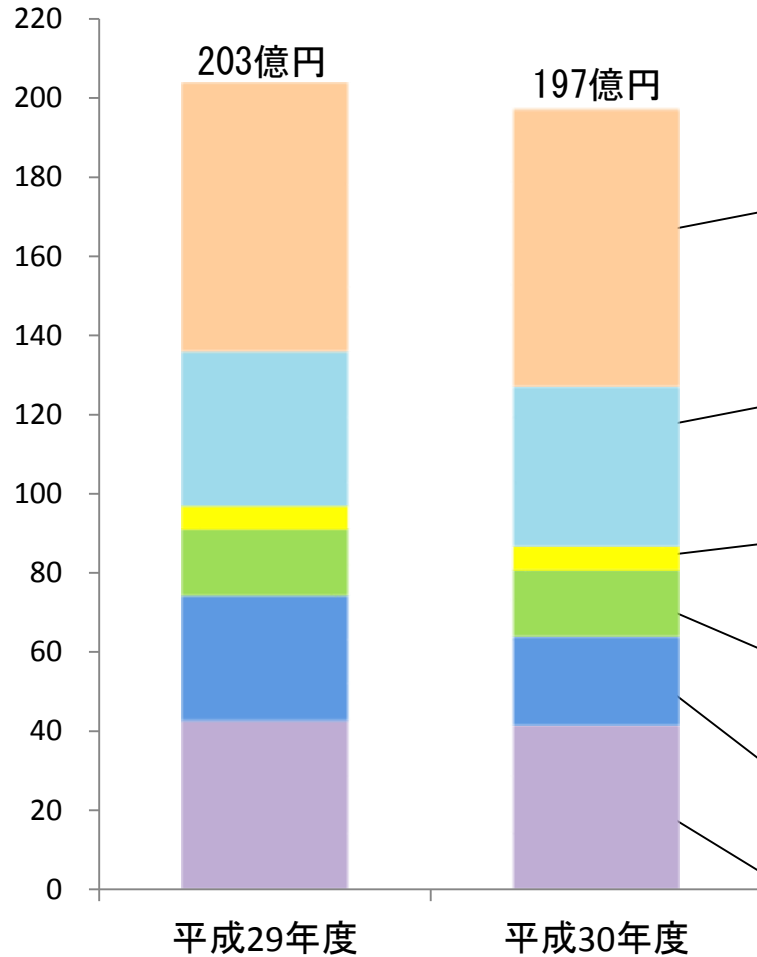


生活支援(独居高齢者の見守り等)、
介護予防(健康生活支援講習等)



4. 社会福祉施設特別会計歳入予算のあらまし

(億円)



事業活動による収入

[129.5億円 → 133.2億円] 2.9%

児童福祉施設

○乳児院	[22.7億円 → 23.8億円]	4.8%
○保育所	[5.0億円 → 5.2億円]	4.0%
○児童養護施設	[3.5億円 → 3.4億円]	△2.9%
○医療型障害児入所施設	[36.5億円 → 37.6億円]	3.0%

老人福祉施設

○老人福祉施設	[38.9億円 → 40.2億円]	3.3%
---------	--------------------	------

障害者福祉施設

○障害者支援施設	[2.7億円 → 2.7億円]	—
○身体障害者社会参加支援施設	[3.2億円 → 3.2億円]	—

○複合型施設

[16.6億円 → 16.8億円] 1.2%

施設整備等及びその他の活動による収入

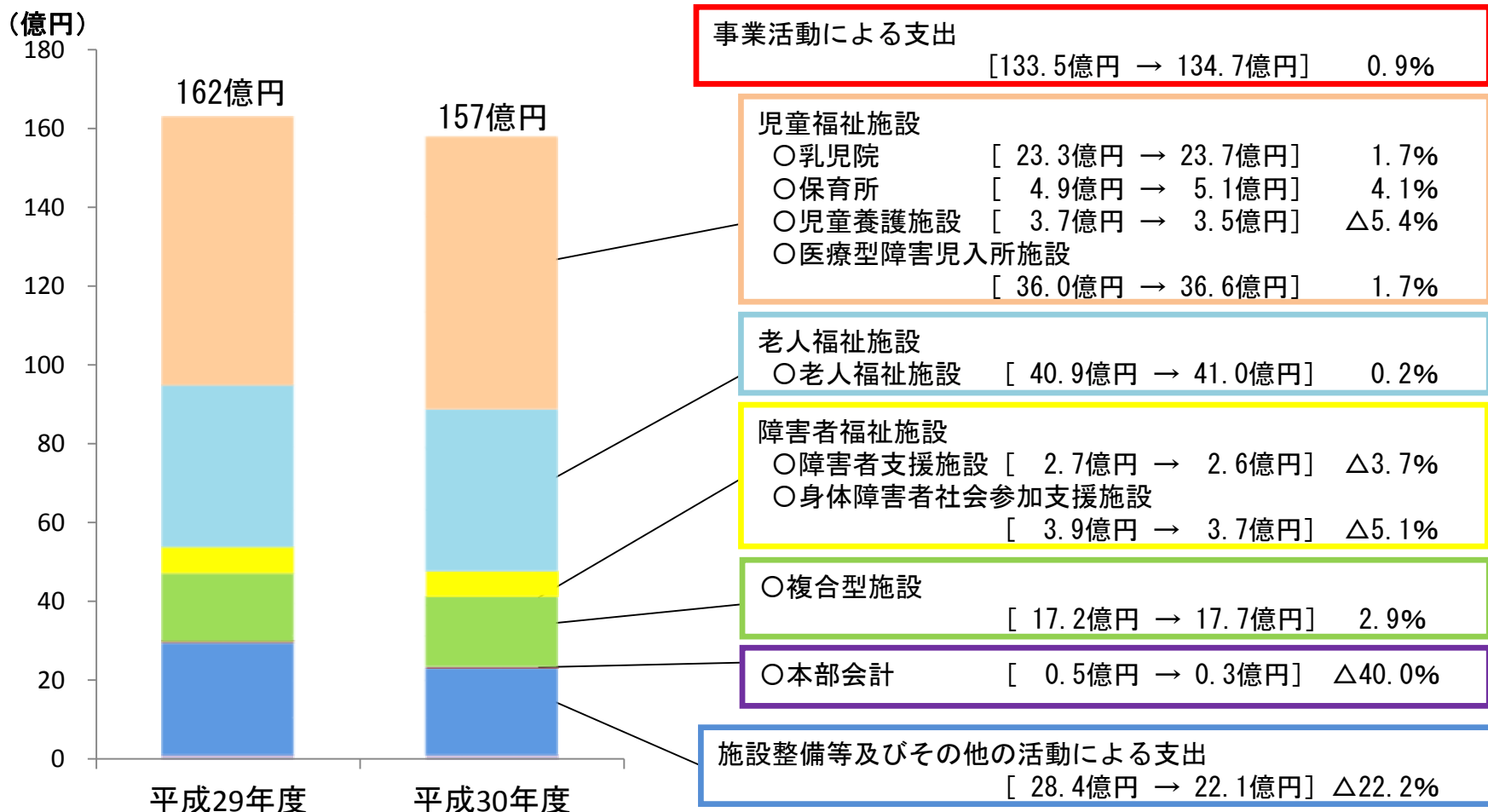
[31.5億円 → 22.4億円] △28.9%

前期末支払資金残高

[42.6億円 → 41.3億円] △3.1%

	平成29年度	平成30年度	増減額	増減率
収入合計	203.7億円	197.1億円	△6.6億円	△3.2%

5. 社会福祉施設特別会計歳出予算のあらまし



	平成29年度	平成30年度	増減額	増減率
支出合計	162.9億円	157.8億円	△5.1億円	△3.1%
収入支出差引額	40.8億円	39.2億円	△1.6億円	